

## 第2期中空知定住自立圏共生ビジョンの 進捗状況及び改訂について

## 2 具体的な事業と内容

### I 生活機能の強化に係る政策分野

#### 1. 医療

基本目標	中空知圏における救急搬送の完結 患者流出の割合 1.8%（平成 29 年度） ⇒ 1.6%（令和 4 年度）
------	---

H30 年度 の達成状況	1.1 %	○
-----------------	-------	---

##### (1) 救急医療の維持確保対策

協定の 内容	(取組の内容) 圏域の初期救急医療体制を確保するため、休日・夜間救急診療体制を維持するとともに、圏域住民に対して救急医療知識の普及啓発を図る。
	(甲の役割・滝川市、砂川市) 休日・夜間救急診療体制を維持するため、医師会等に委託して、初期救急医療の体制確保と圏域住民への救急医療啓発を行う。圏域における二次救急医療体制の維持確保を図る。
	(乙の役割・歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、雨竜町) 甲が行う休日・夜間の初期救急医療体制の維持確保について、必要な協力と応分の経費を負担する。

重要業績 評価指標 (KPI)	在宅当番医制（救急診療当番制）の参加機関数 20 機関（平成 29 年度） ⇒ 20 機関（令和 4 年度）
-----------------------	---

H30 年度 の達成状況	20 機関	○
-----------------	-------	---

- I-1-(1) ア 在宅当番医制運営事業
- イ 病院群輪番制運営事業
- ウ 小児救急医療体制支援事業

(2) 圏域医療体制の充実

協定の 内容	(取組の内容) 圏域住民が安心して暮らせるよう、圏域医療体制の充実を図るとともに、ICTを活用するなど共有する診療情報を有効に活用し、質の高い医療を提供する。
	(甲の役割・滝川市、砂川市) 圏域医療における役割分担の下、医療連携を強化し、病院間で相互支援を行うことにより医療体制の充実を図る。
	(乙の役割・芦別市、赤平市、歌志内市、奈井江町) 圏域医療における役割分担の下、医療連携について、必要な協力と応分の経費を負担する。

重要業績 評価指標 (KPI)	中心市から近隣市町への医師派遣回数 514回(平成29年度) ⇒ 514回(令和4年度)
-----------------------	---

H30年度 の達成状況	523回	○
----------------	------	---

I-1-(2) ア 医療体制の充実

I-1-(1) ア 在宅当番医制運営事業

事業内容		平日夜間と休日における内科・外科系の救急診療当番制事業を実施するとともに、初期救急医療体制の維持確保及び地域住民への救急医療の啓発普及を図る。
効果		平日夜間と休日における初期救急医療の体制確保と地域住民への救急医療啓発によって、地域住民の生命に対する安全性と安心感の向上が図られる。
役割分担	滝砂	関係市町からの負担金の取りまとめを行うとともに、医師会等への委託料の支払い事務を行う。
	関係市町	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等		

(単位：千円)

事業名	事業主体	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	総事業費
救急医療啓発普及事業	芦別市	1,784	1,784	1,784	1,784	1,784	8,920
救急医療啓発普及事業	赤平市	2,879	2,879	2,879	2,879	2,879	14,395
救急医療啓発普及事業	滝川市	2,738	2,738	2,738	2,738	2,738	13,690
在宅当番医制運営事業		3,850	3,850	3,850	3,850	3,850	19,250
休日夜間初期救急維持確保事業		34,225	34,225	34,225	34,225	34,225	171,125
在宅当番医制運営事業	砂川市	2,158	2,158	2,158	2,158	2,158	10,790
救急医療啓発普及事業	歌志内市	239	239	239	239	239	1,195
救急医療啓発普及事業	奈井江町	358	358	358	358	358	1,790
救急医療啓発普及事業	上砂川町	215	215	215	215	215	1,075
救急医療啓発普及事業	浦臼町	192	192	192	192	192	960
救急医療啓発普及事業負担金	新十津川町	650	650	650	650	650	3,250
救急医療啓発普及事業負担金	雨竜町	165	165	165	165	165	825
	合計	49,453	49,453	49,453	49,453	49,453	247,265

※各年度別の事業費は令和元年度については予算額、令和2年度以降については現時点で見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には、前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

<p>H30 年度の 主な取組実績</p>	<p>芦別市、赤平市は、各市立病院にて実施した。 滝川市、新十津川町（除く花月地区）、雨竜町（H27.4～）は、滝川医師会にて実施した。 砂川市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町（花月地区）は、空知医師会にて実施するとともに救急医療の啓発事業として、救急医療講演会を開催した。 奈井江町は、町内開業医(3 診療所)と町立病院とにより休日当番制で対応した。</p>
<p>R 元年度以降 の取組予定</p>	<p>平成 30 年度と同様。</p>
<p>事業における 課題等</p>	<p>特になし。</p>

I-1-(1) イ 病院群輪番制運営事業

事業内容		中空知圏域における第二次救急医療を実施する公的医療機関等の長期的かつ安定的な医療体制を確保する。 ※現状の当番病院は、砂川市立病院、滝川市立病院、滝川脳神経外科病院、あかびら市立病院、市立芦別病院
効果		中空知圏域の第二次救急医療体制の確保が図られる。
役割分担	滝砂	砂川市の役割 関係市町からの負担金の取りまとめ及び医療機関への交付金支払い事務
	関係市町	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等		普通交付税の単位費用

(単位：千円)

事業名	事業主体	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	総事業費
病院群輪番制運営事業	芦別市	3,056	3,056	3,056	3,056	3,056	15,280
病院群輪番制運営事業	赤平市	3,007	3,007	3,007	3,007	3,007	15,035
病院群輪番制運営事業	滝川市	4,125	4,125	4,125	4,125	4,125	20,625
病院群輪番制運営事業	砂川市	5,113	5,113	5,113	5,113	5,113	25,565
病院群輪番制運営事業	歌志内市	220	220	220	220	220	1,100
病院群輪番制運営事業	奈井江町	254	254	254	254	254	1,270
病院群輪番制運営事業	上砂川町	216	216	216	216	216	1,080
病院群輪番制運営事業	浦臼町	197	197	197	197	197	985
広域救急病院群輪番制運営事業負担金	新十津川町	273	273	273	273	273	1,365
病院群輪番制運営事業	雨竜町	206	206	206	206	206	1,030
	合計	16,667	16,667	16,667	16,667	16,667	83,335

※各年度別の事業費は令和元年度については予算額、令和2年度以降については現時点で見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には、前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

---

---

H30 年度の 主な取組実績	砂川市が事務局となり、関係市町から負担金を徴収し、参加病院である砂川市立病院、滝川市立病院、あかびら市立病院、市立芦別病院及び滝川脳神経外科病院に対し、参加割合に応じ事業費を交付した。
R 元年度以降 の取組予定	平成 30 年度と同様。
事業における 課題等	特になし。

I-1-(1) ウ 小児救急医療体制支援事業

事業内容		小児重症患者の休日及び夜間における受入れ医療機関を決定し、中空知圏域の第二次救急医療体制を確保する。
効果		中空知圏域の小児の第二次救急医療体制の確保が図られる。
役割分担	滝砂	砂川市の役割 関係市町からの負担金取りまとめ及び該当医療機関への交付金の支払い事務 北海道補助金申請事務
	関係市町	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等		※2/3 が道費補助金、1/3 が各市町負担金 (平成 30 年度～道費補助金：66.6%、各市町補助金：33.4%) 補助金名：小児救急医療支援事業費補助金

(単位：千円)

事業名	事業主体	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	総事業費
小児救急医療支援事業	芦別市	68	68	68	68	68	340
小児救急医療支援事業	赤平市	337	337	337	337	337	1,685
小児救急医療支援事業	滝川市	1,158	1,158	1,158	1,158	1,158	5,790
小児救急医療支援事業	砂川市	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	5,495
小児救急医療支援事業	歌志内市	39	39	39	39	39	195
小児救急医療支援事業	奈井江町	44	44	44	44	44	220
小児救急医療支援事業	上砂川町	38	38	38	38	38	190
小児救急医療支援運営事業	浦臼町	35	35	35	35	35	175
小児救急医療支援事業負担金	新十津川町	48	48	48	48	48	240
小児救急医療支援事業	雨竜町	36	36	36	36	36	180
	合計	2,902	2,902	2,902	2,902	2,902	14,510

※各年度別の事業費は令和元年度については予算額、令和2年度以降については現時点で見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には、前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

H30 年度の 主な取組実績	砂川市が事務局となり、関係市町から負担金を徴収し、参加病院である砂川市立病院、滝川市立病院及びあかびら市立病院に対し、参加割合に応じ事業費を交付するとともに北海道に対し補助金申請事務を行った。
R 元年度以降 の取組予定	平成 30 年度と同様。
事業における 課題等	特になし。

I-1-(2) ア 医療体制の充実

事業内容		圏域の医療資源を有効に活用し、圏域住民が安心して暮らせるよう、医療体制の充実を図るとともに、ICTを活用するなど共有する診療情報を有効に活用し、質の高い医療を提供する。
効果		圏域医療における役割分担のもとに、地域における医療体制の充実を図るとともに、医療情報の共有を促進することにより、連携する医療機関で相互に参照することが可能となり、医療情報連携の緊密化が図られる。
役割分担	滝 砂	病院間における医療連携や相互支援を図るとともに必要な助成を行い、医療情報の共有化とネットワークの充実を図る。
	関 係 市 町	病院間における医療連携について必要な協力や支援を図る。 各病院間で応分の経費を負担する。
補助制度等		医師の派遣を受ける経費（旅費等）の1/2が特別交付税措置

(単位：千円)

事業名	事業主体	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	総事業費
医師等派遣・支援事業 地域医療ネットワーク基盤整備事業	芦別市	10,323 305	10,323 307	10,323 307	10,323 307	10,323 307	51,615 1,533
医師等派遣・支援事業 地域医療ネットワーク基盤整備事業	赤平市	11,040 671	11,040 671	11,040 671	11,040 671	11,040 671	55,200 3,355
医師等派遣・支援事業 地域医療ネットワーク基盤整備事業	滝川市	17,137 1,061	17,137 1,061	17,137 1,061	17,137 1,061	17,137 1,061	85,685 5,305
医師等派遣・支援事業 地域医療ネットワーク基盤整備事業	砂川市	59,727 2,295	59,727 2,295	59,727 2,295	59,727 2,295	59,727 2,295	298,635 11,475
	歌志内市						
小児科診療委託 地域医療ネットワーク基盤整備事業	奈井江町	2,744 304	2,744 304	2,744 304	2,744 304	2,744 304	13,720 1,520
	上砂川町						
	浦臼町						
	新十津川町						
	雨竜町						
	合計	105,607	105,609	105,609	105,609	105,609	528,043

※各年度別の事業費は令和元年度については予算額、令和2年度以降については現時点で見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

<p>H30 年度の 主な取組実績</p>	<p>砂川市立病院派遣実績  派遣先：滝川市立病院 産婦人科 144 回  市立芦別病院 耳鼻咽喉科 42 回、整形外科 43 回 皮膚科 36 回  あかびら市立病院 泌尿器科 50 回、整形外科 99 回  奈井江町立国保病院 小児科 48 回、(市立美唄病院 産婦人科 99 回)</p> <p>滝川市立病院派遣実績  派遣先：あかびら市立病院 麻酔科 16 回(10 月以降派遣中止)  市立芦別病院 整形外科 45 回</p> <p>あかびら市立病院派遣実績  派遣先：なし</p>
<p>R 元年度以降 の取組予定</p>	<p>平成 30 年度と同様。</p>
<p>事業における 課題等</p>	<p>特になし。</p>

# I 生活機能の強化に係る政策分野

## 2. 福祉

基本目標	出生者数 497人（平成29年） ⇒ 590人（令和4年）
------	----------------------------------

H30年度の達成状況	505人	△
------------	------	---

### (1) 障がい者福祉の推進

協定の内容	(取組の内容) 障がい者の自立と障がい児の早期療育を促進するため、地域活動支援センター及び相談支援事業所、障害児通所支援事業所の広域利用を進め、安定した事業運営を図る。
	(甲の役割・滝川市、砂川市) 地域活動支援センター及び相談支援事業所、障害児通所支援事業所の広域利用に関する連携に努め、連携に関する調整や助言を行う。
	(乙の役割・芦別市、赤平市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、雨竜町) 地域活動支援センター及び相談支援事業所、障害児通所支援事業所の広域利用に関する連携に努める。

重要業績評価指標 (KPI)	地域活動支援センターの通所利用者数 7,376人（平成29年度） ⇒ 7,981人（令和4年度）
----------------	---

H30年度の達成状況	5,897人	×
------------	--------	---

- I-2-(1) ア 障がい児通所支援事業
- イ 地域活動支援センター事業及び相談支援事業

(2) 保育所広域入所事業

協定の 内容	(取組の内容) 保育所の相互利用を可能とし、日常生活圏の拡大や住民ニーズの多様化に対応し、圏域の子育て支援の取組を推進する。
	(甲の役割・滝川市、砂川市) 保育サービスの充実と連携に努め、円滑な広域入所の取組に努める。
	(乙の役割・芦別市、赤平市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、雨竜町) 保育サービスの充実と連携に努め、円滑な広域入所の取組に努める。

重要業績 評価指標 (KPI)	中空知圏域における保育所数 16 箇所（平成 29 年度） ⇒ 17 箇所（令和 4 年度）
-----------------------	---

H30 年度 の達成状況	17 箇所	○
-----------------	-------	---

I-2-(2) ア 保育所広域入所事業

I-2-(1) ア 障がい児通所支援事業

事業内容		<p>心身の発達や成長の遅れに心配のある子どもに対して、発達状況に応じて保護者や関係機関と連携を図りながら、日常生活における基本的な動作や集団生活への適応に関する指導などを行い、家庭や地域で健やかに育っていくための支援を行う。</p> <p>現状 滝川市、雨竜町：こども発達支援センター～児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援、障害児相談支援、市町村中核子ども発達支援センター、理学療法士と言語聴覚士を配置</p> <p>砂川市、1市4町：子ども通園センター～児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援、(歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町)</p> <p>芦別市：児童デイサービスセンター</p> <p>赤平市：子育て支援センター</p>
効果		<p>子どもの心身の育成を助長することを目的としたセンターの安定した事業運営の確保が図られる。</p>
役割分担	滝砂	子ども通園センター等を設置、運営管理する。
	関係市町	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等		地域づくり総合交付金（発達支援センター事業補助金）：北海道補助金

(単位：千円)

事業名	事業主体	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	総事業費
児童デイサービスセンター管理運営業務に要する経費・市町村負担金	芦別市	414	414	414	414	414	2,070
	赤平市						
こども発達支援センター事業	滝川市	39,830	39,830	39,830	39,830	39,830	199,150
子ども通園センター運営管理事業	砂川市	10,144	13,217	16,995	22,100	16,995	79,451
子ども通園センター事業負担金	歌志内市	1,720	1,720	1,720	1,720	1,720	8,600
子ども通園センター事業負担金	奈井江町	3,136	3,136	3,136	3,136	3,136	15,680
子ども通園センター事業負担金	上砂川町	1,472	1,472	1,472	1,472	1,472	7,360
子ども通園センター事業負担金	浦臼町	1,472	1,917	3,206	2,466	2,466	11,527
子ども通園センター事業負担金	新十津川町	6,080	6,080	6,080	6,080	6,080	30,400
こども発達支援センター事業	雨竜町	1,381	1,381	1,381	1,381	1,381	6,905
	合計	65,649	69,167	74,234	78,599	73,494	361,143

※各年度別の事業費は令和元年度については予算額、令和2年度以降については現時点で見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

<p>H30 年度の 主な取組実績</p>	<p>○こども発達支援センター 契約数 176 人（延べ利用人数 2,264 人） 滝川市:契約 163 人(2,120 人)、雨竜町:契約 13 人(144 人) ○子ども通園センター 契約数 70 人（延べ利用人数 1,553 人） 砂川市:契約 34 人(752 人)、新十津川町:契約 16 人(411 人)、歌志内市:契約 6 人(92 人)、 奈井江町:契約 9 人(187 人)、上砂川町:契約 3 人(49 人)、浦臼町:契約 4 人(62 人) ○児童サービスセンター 契約数 30 人（延べ利用人数 826 人） 芦別市:契約 30 人(826 人) ○子育て支援センター 個別支援人数 延べ 457 人 赤平市</p>
<p>R 元年度以降 の取組予定</p>	<p>【浦臼町】砂川市こども通園センターに必要経費を負担し、療育支援を行う。（施設の改修工事と職員増が見込まれることから砂川市より提示された負担金額を計上した。）</p>
<p>事業における 課題等</p>	<p>【浦臼町】職員の確保。相談事業の実施。現在浦臼町に対象者はいないが、医療的ケアを必要とする児に対する支援を行う場がないこと。</p>

I-2-(1) イ 地域活動支援センター事業及び相談支援事業

事業内容		<p>障がい者（児）の自立と社会参加を促進させるため、地域活動支援センターの広域利用を推進する。</p> <p>現状：砂川市は4市4町と共に委託。</p> <p>地域活動支援センターぽぽろ（社会福祉法人くるみ会） （赤平市、滝川市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町）</p> <p>：芦別市は非営利特定法人が実施する「地域活動支援センター事業」に補助金を交付。</p> <p>：新十津川町は地域活動支援センターあざれあ工房（町社会福祉協議会）にも補助金を交付。</p> <p>：雨竜町は運営費負担金を地域活動支援センターあざれあ工房に直接交付。（利用者がいた場合）</p>
効果		広域利用により、安定した事業運営の確保が図られる。
役割分担	滝砂	各市町と連携し、地域活動支援センター事業及び相談支援事業の広域利用を推進するとともに、委託事業者と契約を締結し、必要な経費を負担する。
	関係市町	各市町は委託事業者と契約を締結し、必要な経費を負担する。
補助制度等		地域活動支援センター事業の基本分は普通交付税の単位費用 地域活動支援センター機能強化事業補助金（国庫補助金及び北海道補助金）

（単位：千円）

事業名	事業主体	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	総事業費
地域活動支援センター事業	芦別市	2,710	2,710	2,710	2,710	2,710	13,550
地域活動支援センター事業及び相談支援事業	赤平市	1,090	1,090	1,090	1,090	1,090	5,450
地域活動支援センター事業（委託料）	滝川市	3,266	3,266	3,266	3,266	3,266	16,330
地域活動支援センター事業・相談支援事業（委託料）	砂川市	7,446	7,446	7,446	7,446	7,446	37,230
地域活動支援センター等運営事業（支援センター）	歌志内市	396	396	396	396	396	1,980
地域活動支援センター事業・相談支援事業	奈井江町	1,815	1,815	1,815	1,815	1,815	9,075
地域活動支援センター事業、相談支援事業委託	上砂川町	2,296	2,296	2,296	2,296	2,296	11,480
地域活動支援センター事業委託料・相談支援事業委託料	浦臼町	889	889	889	889	889	10,075
地域活動支援センター負担金		1,126	1,126	1,126	1,126	1,126	
地域活動支援センター負担金	新十津川町	6,684	6,684	6,684	6,684	6,684	33,420
	雨竜町						
	合計	27,718	27,718	27,718	27,718	27,718	138,590

※各年度別の事業費は令和元年度については予算額、令和2年度以降については現時点で見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

<p>H30 年度の 主な取組実績</p>	<p>○地域活動支援センターぽぼろ          ・地域活動支援センター事業(年間 228 日開所)～延べ通所利用数 3,715 人(実人数 91 人)          ・相談支援事業～相談 1,102 件(実人員 172 人)、対象障がい種別(精神 57%、発達 18%、知的 23%等)、相談内容(不安解消・情緒安定 32%、福祉サービス利用 27%、家族・人間関係 7%、障がい・病状理解 14%等)          ○地域活動支援センター(芦別市)～延べ通所利用数 228 人(実人数 3 人)          ○地域活動支援センターあざれあ工房(新十津川町)～利用数 新十津川町 延べ利用数 1.671 人(実人数 10 人)          ○地域活動支援センターむう～ん(月形町社協)に通所～利用者数 浦臼町 延べ 283 人(実 1 人)</p>
<p>R 元年度以降 の取組予定</p>	<p>【浦臼町】地域活動支援センターぽぼろに委託、及び、月形町社協には負担金として必要経費を負担。</p>
<p>事業における 課題等</p>	

I-2-(2) ア 保育所広域入所事業

事業内容		日常生活圏の拡大や住民ニーズの多様化に対応した保育所の広域入所など圏域の子育て支援の取組みを推進する。
効果		児童に対し、認可保育所での適切な保育を提供し、子育てに対する不安の解消や育児と仕事の両立が図られる。
役割分担	滝砂	協定に基づく保育所での児童受入れ及び委託先への保育単価の支出。
	関係市町	協定に基づく保育所での児童受入れ及び委託先への保育単価の支出。
補助制度等		普通交付税の単位費用

(単位：千円)

事業名	事業主体	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	総事業費
保育所広域入所（業務委託料）	芦別市	0	0	0	0	0	0
赤平市広域入所実施事業	赤平市	3,083	3,083	3,083	3,083	3,083	15,415
広域入所負担金事業	滝川市	7,223	7,223	7,223	7,223	7,223	36,115
保育所広域入所委託料	砂川市	2,554	2,554	2,554	2,554	2,554	12,770
保育所一般経費（広域入所保育委託）	歌志内市	971	971	971	971	971	4,855
保育所広域入所	奈井江町	1,674	1,674	1,674	1,674	1,674	8,370
保育所広域入所	上砂川町	0	0	0	0	0	0
保育所広域入所委託料	浦臼町	877	661	661	661	661	3,521
保育所広域入所負担金	新十津川町	2,663	1,300	1,300	1,300	1,300	7,863
保育所広域入所	雨竜町	695	695	695	695	695	3,475
	合計	19,740	18,161	18,161	18,161	18,161	92,384

※各年度別の事業費は令和元年度については予算額、令和2年度以降については現時点で見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

H30 年度の 主な取組実績	児童受入れ数…芦別市 0 人、赤平市 0 人、滝川市 11 人、砂川市 1 人、歌志内市 0 人、奈井江町 1 人、上砂川町 0 人、浦臼町 1 人、新十津川町 0 人、雨竜町 0 人
R 元年度以降 の取組予定	【浦臼町】引き続き圏域内子育て支援推進に対応していく。
事業における 課題等	【新十津川町】入所児童が増えているため、広域による受入れ及び依頼共に難しくなっている。

## I 生活機能の強化に係る政策分野

### 3. 教育

基本目標	「全国学力・学習状況調査」における児童生徒質問紙回答（平成 29 年度との比較） ①国語の授業の内容がよく分かる」：小学生 4%上昇、中学生 9%上昇 小学生：36% ⇒ 40%、中学生：31% ⇒ 40% ②算数（数学）の授業の内容がよく分かる」：小学生 4%上昇、中学生 8%上昇 小学生：46% ⇒ 50%、中学生：32% ⇒ 40%
------	--

H30 年度の達成状況	①国語の授業の内容がよく分かる」：小学生 40%・中学生 40% 小学生：－%、中学生：－% ※30 年度数値なし ②算数（数学）の授業の内容がよく分かる」：小学生 50%・中学生 40% 小学生：46%⇒38%(8%↓)、中学生：32%⇒22%(10%↓)	×
-------------	--	---

#### (1) 学校教育の充実

協定の内容	(取組の内容) 個別の支援を必要とする圏域内の児童生徒に対し、教育の機会の均等を図るとともに、教育内容の充実のため各種事業を実施する。また、施設や人材の活用を図り、圏域住民のサービス向上を図る。
	(甲の役割・滝川市、砂川市) 事業運営の充実と拠点施設の設置・整備を図る。
	(乙の役割・芦別市、赤平市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、雨竜町) 児童生徒が各種事業や拠点施設を利用できるよう情報提供や条件整備を行う。

重要業績評価指標 (KPI)	学校適応指導事業を実施している市町の数 3 市 3 町（平成 29 年度） ⇒ 3 市 3 町（令和 4 年度）
----------------	---

H30 年度の達成状況	3 市 3 町(実施市町:芦別市・赤平市・滝川市・奈井江町・浦臼町・新十津川町)	○
-------------	--	---

- I-3 - (1) ア 言語治療教室通級事業  
イ 学校適応指導事業

(2) 国際教育の充実

協定の内容	(取組の内容) 外国語指導助手、国際交流員等の配置により、語学指導や異文化理解への情報提供を行うとともに、国際化に対応した人材育成と国際交流活動の推進を図る。
	(甲の役割・滝川市、砂川市) 外国語指導助手、国際交流員等の有効活用を推進する。
	(乙の役割・芦別市、赤平市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、雨竜町) 外国語指導助手、国際交流員等の有効活用を推進する。

重要業績 評価指標 (KPI)	外国語指導助手の広域活動延べ人数 24人(平成29年度) ⇒ 30人(令和4年度)
-----------------------	--

H30年度 の達成状況	39人	○
----------------	-----	---

I-3-(2) ア 国際教育の推進

(3) 公の施設の相互利用の推進

協定の内容	(取組の内容) 圏域住民の生涯学習機会等の充実を図り、公共施設の効率的な利用を促進するため、公共施設の適正な維持管理・運営事業を行う。
	(甲の役割・滝川市、砂川市) 施設維持管理・運営事業については、各自治体が行う。
	(乙の役割・芦別市、赤平市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、雨竜町) 施設維持管理・運営事業については、各自治体が行う。

重要業績 評価指標 (KPI)	図書館ネットワーク推進事業の参加者数 525人(平成29年度) ⇒ 600人(令和4年度)
-----------------------	--

H30年度 の達成状況	639人	○
----------------	------	---

I-3-(3) ア 公の施設の相互利用の推進

I-3-(1) ア 言語治療教室通級事業

事業内容		<p>発達障がいやことばに障がいのある児童・生徒が通常学級に在籍し、個別指導を受ける。言語通級教室や適応指導教室は、連携することできめ細かい教育が可能となる。</p> <p>(現状)</p> <p>砂川市:1市4町と提携、ことば、発達障害、教員3名(「週に2時間」を削除) 中央小学校</p> <p>滝川市:単独、ことば、発達障害、教員9名、 滝川第二小学校、滝川第三小学校、西小学校、明苑中学校</p> <p>芦別市:単独、ことば、<b>教委事務局職員1名</b>(上芦別小学校) 単独、ことば、発達障害、教員1名、芦別小学校(平成30年度より)</p> <p>赤平市:単独、ことば、発達障害、教員2名、赤間小学校</p> <p>雨竜町:今は滝川市のこども発達支援センターを利用</p>
効果		継続的な指導によりことばの障害が改善されている。
役割分担	滝砂	砂川市立中央小学校に教室を設置している。 滝川第二小学校、滝川第三小学校、西小学校、明苑中学校に教室を設置している。
	関係市町	各市町の児童を通級させ、必要経費を負担する。
補助制度等		

(単位:千円)

事業名	事業主体	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	総事業費
単) ことばの教室運営	芦別市	50	50	50	50	50	250
単) 通級指導教室事業	赤平市	338	338	338	338	338	1,690
単) 小学校・中学校運営事業 4校設置	滝川市	173	173	173	173	173	865
広域 通級指導教室通級	砂川市	390	390	390	390	390	1,950
" 言語治療教室通級	歌志内市	252・120	252・120	252・120	252・120	252・120	1,260・600
" 言語治療教室通級	奈井江町	59・78	59・78	59・78	59・78	59・78	295・390
" 言語治療教室通級、通学費補助	上砂川町	62・72	62・72	62・72	62・72	62・72	310・360
" 言語治療教室通級、通学費補助	浦臼町	20・48	20・48	20・48	20・48	20・48	100・240
" 言語治療教室通級	新十津川町	180	180	180	180	180	900
	雨竜町						
	合計	1,842	1,842	1,842	1,842	1,842	9,210

※各年度別の事業費は令和元年度については予算額、令和2年度以降については現時点で見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

H30 年度の 主な取組実績	<p>全市町：発達障がいやことばに障がいのある児童・生徒が通常学級に在籍し、個別指導を受ける教室の運営（浦臼町は、平成 30 年度対象児童等、実績なし）</p> <p>芦別市：言葉の発達に遅れがみられるなどの児童を対象に放課後の時間帯で、児童の状況により 30 分程度の個別指導を実施</p>
H31 年度以降 の取組予定	<p>赤平市：今年度から兼務発令をし、他校へ巡回指導を行うこととなったので、より通級指導教室の活性化が期待される。</p> <p>他市町：継続して実施</p>
事業における 課題等	<p>芦別市：今後の検討課題として、ことばの教室を設置している上芦別小学校に芦別小学校と同様に、教職員加配の指定を受け、通級指導教室を導入できるよう検討していきたい。なお、通級指導教室の導入は、現在、中学校においても導入に向けて検討課題となっている。</p> <p>赤平市：人員不足</p> <p>他市町：特になし</p>

I-3-(1) イ 学校適応指導事業

事業内容		不登校児童生徒の学校復帰のための支援・指導を行うとともに、当該児童生徒の保護者との相談体制の充実を図る。 現状： 奈井江町、浦臼町、美唄市は共同運営 ： 新十津川町、滝川市は H25 協定 （滝川市において、H25 より広域的な受け入れの連携推進） ： 赤平市、滝川市は H27 協定 ： 芦別市（単独） ： 上記以外の市町は事業なし
効果		適応指導を通して、児童生徒に自信が付き、生活リズムを取り戻し、学校復帰を図り、安定した学校生活を送ることが可能となる。
役割分担	滝砂	滝川市教育支援センターに設置する適応指導教室の有効活用を推進する。
	関係市町	単独設置若しくは共同運営に加入している市町以外は、適応指導教室の利用を図り、不登校児童生徒の支援、指導を行う。
補助制度等		

(単位：千円)

事業名	事業主体	R 元年	R2 年	R3 年	R4 年	H35 年	総事業費
単) 適応指導教室運営	芦別市	3,188	3,188	3,188	3,188	3,188	15,940
	赤平市						
共同) 適応指導教室運営事業	滝川市	9,766	9,766	9,766	9,766	9,766	48,830
	砂川市						
	歌志内市						
共同) 美唄地区適応指導教室負担金	奈井江町	449	449	449	449	449	2,245
	上砂川町						
共同) 不登校児童生徒指導対策事業 (美唄地区適応指導教室負担金)	浦臼町	365	365	365	365	365	1,825
共同) 適応指導教室負担金	新十津川町	264	264	264	264	264	1,320
	雨竜町						
	合計	14,032	14,032	14,032	14,032	14,032	70,160

※各年度別の事業費は令和元年度については予算額、令和 2 年度以降については現時点で見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

<p>H30 年度の 主な取組実績</p>	<p>全市町： 不登校児童生徒の学校復帰のための支援・指導を行うとともに、当該児童生徒の保護者との相談体制の充実を図る。          芦別市： ・通級指導者指導、体験通級者指導 ・学校との連携、助言 ・通級者、児童生徒、保護者、担任等の相談業務 ・家庭訪問の同行 ほか</p>
<p>R 元年度以降 の取組予定</p>	<p>継続して実施</p>
<p>事業における 課題等</p>	<p>特になし</p>

I-3-(2) ア 国際教育の推進

事業内容		圏域内の小中学校に外国語指導助手（ALT）を配置することにより、日本人の外国語教師の授業補助をはじめ、児童生徒に対する語学指導や異文化理解への情報提供を行うとともに、地域の国際交流に関する活動へ参加する。 また、国際交流員（CIR）の配置により、国際活動に関連する事業の補助や国際交流に参加する地域活動への参加、地域住民の語学習得の支援を行う。
効果		外国語指導助手（ALT）及び国際交流員（CIR）の配置及び効果的な活用により、外国語コミュニケーション能力の向上と国際理解が深められ、国際感覚豊かな青少年の育成が図られるほか、地域における国際化が推進される。
役割分担	滝 砂	外国語指導助手（ALT）及び国際交流員（CIR）の有効活用を推進する。
	関 係 市 町	外国語指導助手（ALT）及び国際交流員（CIR）の有効活用を推進する。
補助制度等		普通交付税の単位費用

(単位：千円)

事業名	事業主体	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	総事業費
英語指導助手に要する経費	芦別市	8,175	8,175	8,175	8,175	8,175	40,875
国際交流員に要する経費		3,757	3,757	3,757	3,757	3,757	18,785
外国青年招致事業	赤平市	10,069	10,069	10,069	10,069	10,069	50,345
外国青年招致事業（CIR）	滝川市	15,687	15,687	15,687	15,687	15,687	78,435
外国青年招致事業（ALT）		22,744	22,744	22,744	22,744	22,744	113,720
外国青年招致事業（ALT）	砂川市	8,435	8,435	8,435	8,435	8,435	42,175
外国青年招致事業（ALTの招致）	歌志内市	4,242	4,242	4,242	4,242	4,242	21,210
英語指導助手に要する経費	奈井江町	5,277	5,277	5,277	5,277	5,277	26,385
ALT関連経費（報酬等）	上砂川町	4,317	4,317	4,317	4,317	4,317	21,585
英語指導助手に要する経費	浦臼町	5,047	5,047	5,047	5,047	5,047	25,235
外国青年招致事業	新十津川町	7,150	7,150	7,150	7,150	7,150	35,750
英語指導助手設置経費	雨竜町	5,001	5,001	5,001	5,001	5,001	25,005
	合計	99,901	99,901	99,901	99,901	99,901	499,505

※各年度別の事業費は令和元年度については予算額、令和2年度以降については現時点で見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

H30 年度の 主な取組実績	外国語指導助手（ALT）及び国際交流員（CIR）の配置及び効果的な活用により、外国語コミュニケーション能力の向上と国際理解を深め、国際感覚豊かな青少年の育成を図り、地域における国際化を推進した。
R 元年度以降 の取組予定	引き続き、外国語指導助手（ALT）及び国際交流員（CIR）の配置及び効果的な活用により、外国語コミュニケーション能力の向上と国際理解を深め、国際感覚豊かな青少年の育成を図り、地域における国際化を推進する。
事業における 課題等	令和2年度からの学習指導要領改訂に伴う圏域内における外国語指導助手の小中学校における授業補助のあり方が課題。

I-3-(3) ア 公の施設の相互利用の推進

事業内容		圏域市町が持つ社会教育、文化・スポーツ施設等の効率的な利用を促進するため、公の施設の適正な維持管理・運営事業を行うとともに、施設の相互利用を推進し、圏域住民の利便性の向上を図る。
効果		公の施設の適正な維持管理や運営事業など、施設の相互利用の推進によって、公の施設の有効活用と生涯学習機会及び健康増進の充実が図られる。
役割分担	滝 砂	公の施設の維持管理・運営事業については、各自自治体が行う。
	関 係 市 町	公の施設の維持管理・運営事業については、各自自治体が行う。
補助制度等		

(単位：千円)

事業名	事業主体	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	総事業費
図書館運営管理経費	芦別市	9,602	9,602	9,602	9,602	9,602	48,010
図書購入費		2,370	2,370	2,370	2,370	2,370	11,850
図書館運営管理経費	赤平市	6,575	6,575	6,575	6,575	6,575	32,875
図書購入費		3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	15,000
図書館運営管理経費	滝川市	20,630	18,781	18,781	18,781	18,781	95,754
図書購入費		5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	27,500
図書館運営管理経費	砂川市	31,088	15,345	15,345	15,345	15,345	92,468
図書購入費		5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	25,000
図書館運営管理経費	歌志内市	3,130	3,130	3,130	3,130	3,130	15,650
図書購入費		863	863	863	863	863	4,315
図書館運営管理経費	奈井江町	2,245	2,315	2,223	2,315	2,223	11,321
図書購入費		1,363	1,350	1,350	1,350	1,350	6,763
図書館運営管理経費	上砂川町	1,837	1,837	1,837	1,837	1,837	9,185
図書購入費		561	561	561	561	561	2,805
図書館運営管理経費	浦臼町	17	17	17	17	17	85
図書購入費		400	400	400	400	400	2,000
図書館運営管理経費	新十津川町	27,256	27,256	27,256	27,256	27,256	136,280
図書購入費		5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	25,000
図書館運営管理経費	雨竜町	3,062	3,062	3,062	3,062	3,062	15,310
図書購入費		800	800	800	800	800	4,000
	合計	130,299	112,764	112,672	112,764	112,672	581,171

(単位：千円)

事業名	事業主体	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	総事業費
社会教育施設（文化施設含む）	芦別市	56,458	56,458	56,458	56,458	56,458	282,290
社会体育施設（スポーツ施設含む）		104,619	104,619	104,619	104,619	104,619	523,095
社会教育施設（文化施設含む）	赤平市	49,574	49,574	49,574	49,574	49,574	247,870
社会体育施設（スポーツ施設含む）		46,177	46,177	46,177	46,177	46,177	230,885
社会教育施設（文化施設含む）	滝川市	68,231	68,231	68,231	68,231	68,231	341,155
社会体育施設（スポーツ施設含む）		97,001	97,001	97,001	97,001	97,001	485,005
社会教育施設（文化施設含む）	砂川市	97,131	88,749	88,749	88,749	88,749	452,127
社会体育施設（スポーツ施設含む）		56,917	51,142	51,142	51,142	51,142	261,485
社会教育施設（文化施設含む）	歌志内市	43,094	43,094	43,094	43,094	43,094	215,470
社会体育施設（スポーツ施設含む）		10,966	7,342	7,342	7,342	7,342	40,334
社会教育施設（文化施設含む）	奈井江町	33,837	33,837	33,837	33,837	33,837	169,185
社会体育施設（スポーツ施設含む）		37,661	37,661	37,661	37,661	37,661	188,305
社会教育施設（文化施設含む）	上砂川町	19,268	19,268	19,268	19,268	19,268	96,340
社会体育施設（スポーツ施設含む）		24,786	14,285	14,285	14,285	14,285	81,926
社会教育施設（文化施設含む）	浦臼町	1,764	1,764	1,764	1,764	1,764	8,820
社会体育施設（スポーツ施設含む）		7,751	7,751	7,751	7,751	7,751	38,755
社会教育施設（文化施設含む）	新十津川町	22,272	22,272	22,272	22,272	22,272	111,360
社会体育施設（スポーツ施設含む）		108,390	68,390	68,390	68,390	68,390	381,950
社会教育施設（文化施設含む）	雨竜町	15,653	15,653	15,653	15,653	15,653	78,265
社会体育施設（スポーツ施設含む）		41,020	12,370	12,370	12,370	12,370	90,500
	合計	942,570	845,638	845,638	845,638	845,638	4,325,122

※各年度別の事業費は令和元年度については予算額、令和2年度以降については現時点で見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

H30年度の 主な取組実績	公の施設の適正な維持管理や運営事業など、施設の相互利用の推進によって、公の施設の有効活用と生涯学習機会及び健康増進の充実を図った。 また、なかそらち図書館ネットワーク推進事業を実施し、読書普及と生涯学習機会の増加に努めた。
R元年度以降 の取組予定	引き続き、公の施設の適正な維持管理や運営事業など、施設の相互利用の推進によって、公の施設の有効活用と生涯学習機会及び健康増進の充実を図る。 また、図書館の相互利用を促進し、施設と蔵書の有効活用を図るとともに、なかそらち図書館ネットワーク推進事業を実施し、読書普及と生涯学習機会の増加を目指す。
事業における 課題等	構成市町の図書館（室）整備状況及び人員配置の違いから、事業実施における取組みへの関心等に差が生じている。 多様な学習の機会について情報提供が必要。

## I 生活機能の強化に係る政策分野

### 4. 産業振興

基本目標	事業所数、従業員数 4,836 箇所、41,869 人（平成 29 年度） ⇒ 4,673 箇所、40,803 人（令和 4 年度）
------	---

H30 年度の達成状況	4,643 箇所、41,972 人	×
-------------	-------------------	---

#### I-4-(1) ア 鳥獣被害防止対策事業

##### (1) 鳥獣被害防止対策の推進

協定の内容	(取組の内容) 農林業への被害防止を図るため、関係機関・団体と連携して協議の場を設け、被害状況や被害防止対策等の情報交換や処理費用の軽減に向けた手法を検討するための連携を進める。
	(甲の役割・滝川市、砂川市) エゾシカなど対象鳥獣の駆除などに関する情報交換や検討を行い、関係市町と調整を図り、鳥獣被害防止対策を実施する。
	(乙の役割・芦別市、赤平市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、雨竜町) エゾシカなど対象鳥獣の駆除などに関する情報交換や検討を行い、関係市町と調整を図り、鳥獣被害防止対策を実施する。

重要業績評価指標 (KPI)	有害鳥獣捕獲頭数 (エゾシカ・アライグマ) 2,837 頭 (平成 29 年度) ⇒ 3,020 頭 (令和 4 年度)
----------------	---

H30 年度の達成状況	2,877 頭	△
-------------	---------	---

#### I-4-(2) ア 観光・物産・交流事業

(2) 地域資源を活用した農商工・観光振興

協定の内容	(取組の内容) 圏域における観光と地場産品の振興を図るため、各市町が有する観光、食、物産品等の地域資源の魅力や付加価値を維持・向上させ地域ブランドの情報を発信していくとともに、関係団体と連携し地産地消、物産振興、地域ブランドの販路拡大を図り、都市と農村の交流、観光ルートの開発やイベント等を通して農商工・観光の振興を図る。
	(甲の役割・滝川市、砂川市) 圏域内のイベント及び物産情報等を集約し、圏域内外に向けて発信するとともに、関係団体と連携し、農商工・観光振興事業を推進する。
	(乙の役割・芦別市、赤平市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、雨竜町) イベント及び物産情報等を提供するとともに、関係団体と連携し、農商工・観光振興事業を推進する。

重要業績 評価指標 (KPI)	観光客入込数 450万2千人(平成29年度) ⇒ 505万7千人(令和4年度)
-----------------------	--

H30年度 の達成状況	469万人	△
----------------	-------	---

I-4-(2) ア 観光・物産・交流事業

(3) 雇用・就業支援対策の推進

協定の内容	(取組の内容) セミナーや技能講習等を計画・実施し、技術者の技能向上を図り、通年雇用化等を目指す。
	(甲の役割・滝川市、砂川市) 関係団体との連携により技能者等のセンター機能の充実と利用促進を図る。
	(乙の役割・芦別市、赤平市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、雨竜町) 技能者等のセンター機能の利用によるスキルアップを図る。

重要業績 評価指標 (KPI)	季節労働者の通年雇用化人数 51人(平成29年度) ⇒ 50人(令和4年度)
-----------------------	---

H30年度 の達成状況	55人	○
----------------	-----	---

I-4-(3) ア 雇用・就業支援対策事業

I-4-(1) ア 鳥獣被害防止対策事業

事業内容		<p>農林業への被害防止を図るため、関係機関・団体と連携して協議の場を設け、被害状況や被害防止対策、効果的な駆除対策等の情報交換や、処理費用の軽減に向けた手法を検討するための連携を進める。</p> <p>現状：砂川市と奈井江町、芦別市と赤平市がそれぞれ2自治体で協議会を設置。 滝川市、浦臼町（H24）、新十津川町は単独で協議会を設置。 歌志内市：砂川支部歌志内部会猟友会に委託 上砂川町：砂川支部上砂川部会猟友会に委託 雨竜町は、直接事業として実施。</p> <p>連携するためには、各団体等の対象とするエリア、事業規模、JA や猟友会などの関係団体の調整が必要となる。</p>
効果		広域連携し広域的な防止対策を実施することにより有害鳥獣対策の強化が図られる。
役割分担	滝砂	エゾシカなど対象鳥獣の駆除などに関する情報交換や検討を行い、関係市町と調整を図り鳥獣被害防止対策を実施する。
	関係市町	エゾシカなど対象鳥獣の駆除などに関する情報交換や検討を行い、関係市町と調整を図り鳥獣被害防止対策を実施する。
補助制度等		農水省：鳥獣被害防止総合対策交付金事業（推進事業・整備事業）

(単位：千円)

事業名	事業主体	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	総事業費
鳥獣被害防止対策事業費	芦別市	13,242	13,242	13,242	13,242	13,242	66,210
鳥獣駆除等業務委託料（猟友会委託料）	赤平市	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	6,000
有害鳥獣対策事業	滝川市	234	234	234	234	234	1,170
猟友会報償費		610	610	610	610	610	3,050
鳥獣被害防止対策協議会補助金		55	55	55	55	55	275
有害鳥獣対策事業費	砂川市	1,866	1,866	1,866	1,866	1,866	9,330
有害鳥獣対策連絡協議会補助金事業		20	20	20	20	20	100
鳥獣駆除等業務委託料（猟友会委託料）		786	786	786	786	786	3,930
有害鳥獣等対策協議会補助金	歌志内市	1,438	1,438	1,438	1,438	1,438	7,190
有害鳥獣運搬業務委託料		1,628	1,628	1,628	1,628	1,628	8,140
狩猟免許取得支援事業		274	274	274	274	274	1,370
有害鳥獣駆除対策事業	奈井江町	261	261	261	261	261	1,305
鳥獣駆除等業務委託料（猟友会委託料）	上砂川町	1,553	1,553	1,553	1,553	1,553	7,765
有害鳥獣駆除対策事業	浦臼町	1,545	1,545	1,545	1,545	1,545	7,725
有害鳥獣駆除対策事業	新十津川町	11,268	11,268	11,268	11,268	11,268	56,340
有害鳥獣駆除対策協議会負担金		3,396	3,396	3,396	3,396	3,396	16,980
有害鳥獣駆除対策事業	雨竜町	1,576	1,576	1,576	1,576	1,576	7,880
雨竜町活性化協議会		200	200	200	200	200	1,000
	合計	41,142	41,142	41,142	41,142	41,142	205,760

※各年度別の事業費は令和元年度については予算額、令和2年度以降については現時点で見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

H30 年度の 主な取組実績	各団体において、鳥獣被害防止対策を実施するとともにハンターの育成に努めた。また、行政担当者による担当者会議を開催し、有害鳥獣生息状況や被害箇所、捕獲体制、効果的な防止対策及び設備などについて情報共有し、連携を図った。新十津川町では、道総研環境科学研究センターと協力して深刻化するアライグマ被害低減のための研修会を実施した。また、浦臼町は国のジビエ倍増モデル整備事業指定を受け「ジビエ・de・そらち」事業に着手した。
R 元年度以降 の取組予定	各団体において、鳥獣被害防止対策を実施するとともにハンターの育成に努める。また、行政担当者による担当者会議を開催し、有害鳥獣生息状況や被害箇所、捕獲体制、効果的な防止対策及び設備などについて情報共有し、連携を図る。
事業における 課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ハンターの高齢化に伴う若年層の新人ハンターの育成、技術の伝承。</li> <li>○ハンターの高齢化による出動回数の減少</li> <li>○有害鳥獣増加に伴う処理費用の増加</li> <li>○行政区域を超えた強力な連携体制</li> </ul>

I-4-(2) ア 観光・物産・交流事業

事業内容		圏域における観光と地場産品の振興を図るため、各市町が有する観光、食、物産品等の地域資源の魅力や付加価値を維持・向上させ地域ブランドの情報を発信していくとともに、関係団体と連携し地産地消、物産振興、地域ブランドの販路拡大を図り、都市と農村の交流、観光ルートの開発やイベント等を通して観光振興、農商工の振興を図る。
効果		中空知の地域資源の魅力や付加価値を発信することで、地域の知名度アップと海外を含めた誘客促進、地場産品の物産振興が図られ、人的交流による広域観光ニーズへの対応と、長期滞在や回遊性の向上による圏域内の経済効果の拡大、競争力の高い魅力ある観光地の形成に資する。
役割分担	滝砂	圏域内のイベント及び物産情報を集約し、圏域内外に向けて発信するとともに、関係団体と連携し、農商工・観光振興事業を推進する。
	関係市町	イベント及び物産情報等を提供するとともに、関係団体と連携し、農商工・観光振興事業を推進する。
補助制度等		

(単位：千円)

事業名	事業主体	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	総事業費
観光・物産・交流事業	芦別市	124,65	124,65	124,65	124,65	124,65	623,255
中空知広域圏負担金(観光事業分)		1	1	1	1	1	
観光・物産・交流事業	赤平市	9,500	9,500	9,500	9,500	9,500	47,500
中空知広域圏負担金(観光事業分)		346	346	346	346	346	
観光・物産・交流事業	滝川市	35,645	35,645	35,645	35,645	35,645	178,225
中空知広域圏負担金(観光事業分)		840	840	840	840	840	
観光・物産・交流事業	砂川市	22,835	22,835	22,835	22,835	22,835	114,175
中空知広域圏負担金(観光事業分)		470	470	470	470	470	
観光・物産・交流事業	歌志内市	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	6,500
中空知広域圏負担金(観光事業分)		209	209	209	209	209	
観光・物産・交流事業	奈井江町	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	7,000
中空知広域圏負担金(観光事業分)		252	252	252	252	252	
観光・物産・交流事業	上砂川町	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600	18,000
中空知広域圏負担金(観光事業分)		195	195	195	195	195	
観光・物産・交流事業	浦臼町	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	50,000
中空知広域圏負担金(観光事業分)		180	180	180	180	180	
観光・物産・交流事業	新十津川町	89,214	89,214	89,214	89,214	89,214	446,070
中空知広域圏負担金(観光事業分)		291	291	291	291	291	
観光・物産・交流事業	雨竜町	4,164	4,164	4,164	4,164	4,164	20,820
中空知広域圏負担金(観光事業分)		195	195	195	195	195	
	合計	305,70	305,70	305,70	305,70	305,70	1,528,535
		7	7	7	7	7	

※各年度別の事業費は令和元年度については予算額、令和2年度以降については現時点で見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模

が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

<p>H30年度の 主な取組実績</p>	<p>中空知の地域資源の魅力や付加価値を発信するため、中空知花火大会スタンプラリーを実施（応募総数：341）するとともに、中空知5市5町のイベントカレンダーにより情報発信を行った。</p> <p>北海道じゃらんを活用し特集ページでPRに努めるとともに、中空知のグルメ・物産振興を図るため「なかそらち大収穫祭」に出店、また、「なかそらち周遊観光モニターツアー事業」として4つのツアーにより、中空知のさらなる魅力発信に努めた。</p>
<p>R元年度以降 の取組予定</p>	<p>中空知の地域資源の魅力や付加価値を発信するため、中空知花火大会スタンプラリーを引き続き実施するとともに中空知5市5町のイベントカレンダーを作成し、情報発信を行う。</p> <p>また、グルメ・物産の振興を図るため「さっぽろオータムフェスト」をはじめ各地の物産展に出展しPRに努める。引き続き「なかそらち大収穫祭」に出店協力し、地域の魅力発信を行う。</p> <p>広域観光ニーズを把握するとともに観光ルートを開発するため、周遊観光モニターツアーを実施する。</p>
<p>事業における 課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○観光資源の掘り起こしと商品化の推進</li> <li>○外国人観光客の誘致推進及び回遊性の向上による圏域内の経済効果の拡大</li> <li>○広域観光ルートの開発</li> <li>○観光施設の老朽化対策と遊休施設等の有効活用</li> </ul>

I-4-(3) ア 雇用・就業支援対策事業

事業内容		<p>関係企業の従業員や求職者及び地域住民に対し、職業教育訓練を実施し企業の担い手の育成に資するほか、積雪寒冷期における季節労働者の失業を減らすため、セミナー、講習会を開催して啓発を行い、さらに季節労働者が技能資格の取得等によって、通年雇用化を目指す。</p> <p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の中小企業労働者や求職者及び地域住民の職業教育訓練を目的としたスキルアップセンター空知の運営を支援。</li> <li>・ 地域における季節労働者対策として砂川市、歌志内市、奈井江町、上砂川町で砂川地域通年雇用促進協議会を設置、芦別市、赤平市、滝川市、新十津川町、雨竜町で滝川地域通年雇用促進協議会を設置、浦臼町は、美瑛市と美瑛市季節労働者通年雇用促進協議会を設置。</li> </ul>
効果		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々な研修・技能講習・資格試験などの職業教育訓練を通し、労働者の技能向上、求職者の就労支援が図られている。</li> <li>・ 各地域のニーズに応じた様々な事業を展開し、季節労働者の通年雇用化に一定の成果が表れている。</li> </ul>
役割分担	滝砂	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関係団体との連携により技能者等センター機能の充実と利用促進を図る。</li> <li>・ 季節労働者支援のため、事務局や雇用促進支援員を配置し、積極的な事業の推進を図る。</li> </ul>
	関係市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 技能者等のセンター機能の利用によるスキルアップの向上を図る。</li> <li>・ 関係団体と協働で季節労働者の通年雇用化を促進する。</li> </ul>
補助制度等		厚生労働省委託事業。北海道～季節労働者資格取得促進事業

(単位：千円)

事業名	事業主体	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	総事業費
協会、通促進支援負担金	芦別市	737	737	737	737	737	3,685
協会、通促進支援負担金	赤平市	879	879	879	879	879	4,395
協会、通促進支援負担金	滝川市	16,850	16,850	16,850	16,850	16,850	84,250
協会、砂川通促進支援負担金	砂川市	1,005	1,005	1,005	1,005	1,005	5,025
協会、砂川通促進支援負担金	歌志内市	295	295	295	295	295	1,475
協会、砂川通促進支援負担金	奈井江町	360	360	360	360	360	1,800
協会、砂川通促進支援負担金	上砂川町	20	20	20	20	20	100
協会、通促進支援負担金	浦臼町	197	197	197	197	197	985
協会、通促進支援負担金	新十津川町	581	581	581	581	581	2,905
協会、通促進支援負担金	雨竜町	277	277	277	277	277	1,385
	合計	21,201	21,201	21,201	21,201	21,201	106,005

※各年度別の事業費は令和元年度については予算額、令和2年度以降については現時点で見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

<p>H30 年度の 主な取組実績</p>	<p>通年雇用促進協議会における研修や技能講習の受講や資格取得により、季節労働者の通年雇用を促進した（滝川地域 31 名・砂川地域 24 名）。</p> <p>スキルアップセンター空知において、地域における中小企業労働者・求職者・地域住民に対し、各種職業教育訓練を行うとともに職業講習・研修及び住民講座等を行った（利用延人数 21,542 名）。また、11 月に中空知合同企業説明会を開催し、42 企業が出展、200 名を超える高校生が参加し、地域企業への就業となる機会を設けることができた。</p>
<p>R 元年度以降 の取組予定</p>	<p>通年雇用促進協議会におけるアンケート調査や研修及び技能講習の受講ならびに資格取得により、季節労働者の通年雇用を促進する。</p> <p>地域の中小企業の従業員や求職者及び地域住民に対し、職業教育訓練を実施し企業の担い手の育成に資するため、スキルアップセンター空知の運営を支援する。</p> <p>11 月 14 日には、「なかそらち合同企業説明会」を開催し、圏域内の高校 2 年生と國學院大学北海道短期大学部学生を対象に、就職活動前や求職活動を見直す際に地域の仕事や企業を知る機会を設け、地元定着につなげる。</p>
<p>事業における 課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○建設業、医療・介護・福祉、製造業、運輸業等での人材不足に対応する効果的、複合的な施策の展開。</li> <li>○女性や若者を定着させるための働きやすい労働環境整備。</li> <li>○地道な人材育成努力と職業訓練機会の提供。</li> <li>○事業所が求める人材と就労希望者年齢のミスマッチ。</li> </ul>

## I 生活機能の強化に係る政策分野

### 5. 環境

基本目標	一般廃棄物のリサイクル率 25.6%（平成 28 年度） ⇒ 28.0%（令和 3 年度）
------	--

H30 年度 の達成状況	24.6%	×
-----------------	-------	---

#### (1) 廃棄物処理施設等の広域利用の推進

協 定 の 内 容	（取組の内容） 廃棄物等の安定的かつ効率的な収集・処理体制を推進しながら、処理施設等の広域利用を促進する。	
	（甲の役割・滝川市、砂川市） 乙と連携して、一部事務組合等における広域処理を維持するとともに、更新時期に合わせた更なる広域化も模索しながら、応分の経費を負担する。	
	（乙の役割・芦別市、赤平市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、雨竜町） 甲と連携して、一部事務組合等における広域処理を維持するとともに、更新時期に合わせた更なる広域化も模索しながら、応分の経費を負担する。	

重要業績 評価指標 （KPI）	市民・町民 1 人 1 日当たりのごみ排出量 946g（平成 28 年度） ⇒ 821g（令和 3 年度）
-----------------------	--

H30 年度 の達成状況	965g	×
-----------------	------	---

#### I-5-(1) ア 廃棄物処理施設等の広域利用の推進

(2) 消費生活

協 定 の 内 容	(取組の内容) 複雑・多様化する消費生活相談に対応するため、広域的な取組を推進しながら、圏域住民の消費生活の安定と向上を図る。
	(甲の役割・滝川市、砂川市) 滝川市が設置する滝川地方消費者センターを広域的に運営し、乙及び関係機関等とも連携しながら、消費生活相談員の資質向上に努め、啓発事業の実施や消費生活相談の充実を図る。
	(乙の役割・芦別市、赤平市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、雨竜町) 滝川市が設置する滝川地方消費者センター又は甲及び関係機関等と連携し、啓発事業の実施や消費生活相談の充実を図るとともに、応分の経費を負担する。

重要業績 評価指標 (KPI)	消費生活相談における苦情相談件数 384件(平成28年度) ⇒ 500件(令和3年度)
-----------------------	--

H30年度 の達成状況	617件	○
----------------	------	---

I-5-(2) ア 消費生活相談の広域対応

I-5-(1) ア 廃棄物処理施設等の広域利用の推進

事業内容		<p>事業の安定的かつ効率的な運営を推進しながら、処理施設等の広域利用を行う。</p> <p>【現状】</p> <p>○一般廃棄物処理施設</p> <p>[中継施設]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクリーン（滝）滝川市、芦別市（生ごみのみ）、赤平市、新十津川町、雨竜町</li> <li>・クリーンプラザくるくる（砂）砂川市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町</li> </ul> <p>[焼却処理施設]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中・北空知エネクリーン（中）滝川市、赤平市、砂川市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、雨竜町及び北空知1市4町</li> </ul> <p>○汚泥等受入施設（し尿及び浄化槽汚泥処理施設）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石狩川流域下水道奈井江浄化センター（石） 滝川市、芦別市、赤平市、砂川市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、雨竜町及び南空知1市1町</li> </ul> <p>○火葬施設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滝の川斎苑（滝）滝川市、赤平市、新十津川町、雨竜町</li> <li>・吉野斎苑（砂）砂川市、歌志内市、上砂川町</li> <li>・奈井江葬斎場 奈井江町、浦臼町 （単独：芦別市）</li> </ul> <p>※ 課題＝老朽化に伴う施設の建替え費用や廃止施設の解体費用、ごみ・し尿の収集業務等の取扱いについて、今後、必要に応じて検討</p> <p>※ （滝）は中空知衛生施設組合、（砂）は砂川地区保健衛生組合、（中）は中・北空知廃棄物処理広域連合、（石）は石狩川流域下水道組合</p>
効果		施設の建設・管理、事業運営を共同で行うことで、経費節減や事業効率化が図られる。
役割分担	滝 砂	各自治体が応分の経費を負担する。
	関係市 町	各自治体が応分の経費を負担する。
補助制度等		普通交付税の単位費用

(単位：千円)

事業名	事業主体	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	総事業費
一部事務組合負担金等	芦別市	167,031	167,031	167,031	167,031	167,031	835,155
一部事務組合負担金等	赤平市	305,194	305,194	305,194	305,194	305,194	1,525,970
一部事務組合負担金等	滝川市	673,910	673,910	673,910	673,910	673,910	3,369,550
一部事務組合負担金等	砂川市	418,769	418,769	418,769	418,769	418,769	2,093,845
一部事務組合負担金等	歌志内市	74,971	74,971	74,971	74,971	74,971	374,855
一部事務組合負担金等	奈井江町	122,933	122,933	122,933	122,933	122,933	614,665
一部事務組合負担金等	上砂川町	71,183	71,183	71,183	71,183	71,183	355,915
一部事務組合負担金等	浦臼町	64,555	64,555	64,555	64,555	64,555	322,775
一部事務組合負担金等	新十津川町	119,655	119,655	119,655	119,655	119,655	598,275
一部事務組合負担金等	雨竜町	60,456	60,456	60,456	60,456	60,456	302,280
	合計	2,078,657	2,078,657	2,078,657	2,078,657	2,078,657	10,393,285

※各年度別の事業費は令和元年度については予算額、令和2年度以降については現時点で見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

<p>H30年度の 主な取組実績</p>	<p>引き続き処理施設等の広域利用を実施</p>
<p>R 元年度以降 の取組予定</p>	<p>引き続き処理施設等の広域利用を実施予定</p>
<p>事業における 課題等</p>	<p>老朽化に伴う施設の建替費用や廃止施設の解体費用、ごみ・し尿の収集業務等の取扱いについて、今後、必要に応じて検討</p>

I-5-(2) ア 消費生活相談の広域対応

事業内容		<p>複雑・多様化する消費生活相談に対応するため、相談体制の維持・確保を図るとともに、被害情報等を共有化しながら、広域的な取組みを推進する。</p> <p>【現状】                  滝川地方消費者センター（滝川市、歌志内市、奈井江町、浦臼町、新十津川町、雨竜町）                  （単独：芦別市、赤平市、砂川市、上砂川町）</p>
効果		<p>広域的消費生活相談事業の推進によって、圏域住民の消費生活の安定と向上が図られる。</p>
役割分担	滝砂	<p>消費者センター等における消費生活相談員の資質向上に努め、相談体制の充実を図りながら、圏域住民を対象とした消費生活相談を実施する。                  （必要に応じて関係市町と相談内容、対応状況等の情報交換を行う）</p>
	関係市町	<p>消費者センター等と連携し、消費者相談の円滑化を図りながら、応分の経費を負担する。                  （必要に応じて関係市町と相談内容、対応状況等の情報交換を行う）</p>
補助制度等		

（単位：千円）

事業名	事業主体	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	総事業費
消費生活相談業務	芦別市	1,360	1,360	1,360	1,360	1,360	6,800
消費生活相談業務	赤平市	1,988	1,988	1,988	1,988	1,988	9,940
滝川地方消費者センター相談事業	滝川市	3,196	3,196	3,196	3,196	3,196	15,980
消費生活相談業務	砂川市	1,292	1,292	1,292	1,292	1,292	6,460
滝川地方消費者センター相談事業	歌志内市	215	215	215	215	215	1,075
滝川地方消費者センター相談事業	奈井江町	295	295	295	295	295	1,475
消費生活相談業務	上砂川町	1,995	1,995	1,995	1,995	1,995	9,975
滝川地方消費者センター相談事業	浦臼町	142	142	142	142	142	710
滝川地方消費者センター相談事業	新十津川町	407	407	407	407	407	2,035
滝川地方消費者センター相談事業	雨竜町	194	194	194	194	194	970
	合計	11,084	11,084	11,084	11,084	11,084	55,420

※各年度別の事業費は令和元年度については予算額、令和2年度以降については現時点で見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

<p>H30 年度の 主な取組実績</p>	<p>相談体制の維持・確保を図るとともに、被害情報等を共有化しながら、広域的な取組を推進</p>
<p>R 元年度以降 の取組予定</p>	<p>H30 年度と同内容の取組を予定</p>
<p>事業における 課題等</p>	<p>特になし</p>

## I 生活機能の強化に係る政策分野

### 6. 防災・消防

基本目標	防災講習会等の開催数 31回（平成29年度） ⇒ 31回（令和4年度）
------	--

H30年度 の達成状況	38回	○
----------------	-----	---

#### (1) 広域防災体制の連携推進

協定の 内容	(取組の内容) 災害時に必要な情報の共有、迅速な対応を図るための応援体制の確立に向けて、平常時より情報交換や事業の連携を進め、広域防災体制の整備と強化を図る。
	(甲の役割・滝川市、砂川市) 災害時における職員派遣や備蓄品・資機材・避難施設の相互利用が可能となる諸準備や共同事業の検討を進め、関係市町と相互応援体制を構築する。
	(乙の役割・芦別市、赤平市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、雨竜町) 災害時における職員派遣や備蓄品・資機材・避難施設の相互利用が可能となる諸準備や共同事業の検討を進め、関係市町と相互応援体制を構築する。

重要業績 評価指標 (KPI)	防災講習会の参加者数 1,321人（平成29年度） ⇒ 1,176人（令和4年度）
-----------------------	--

H30年度 の達成状況	1,344人	○
----------------	--------	---

(2) 消防相互応援体制の整備

協定の内容	<p>(取組の内容)</p> <p>災害時や緊急時において、関係市町が協力し、迅速かつ的確な対応を行うため、平常時より情報交換や事業における連携を進め、圏域の消防力を強化し、防災力の向上を図る。</p>
	<p>(甲の役割・滝川市、砂川市)</p> <p>平常時より関係市町と情報交換や事業における連携を進めることにより、災害時や緊急時において、乙からの要請に応じ、迅速かつ的確な対応を行うことができる応援体制の整備を推進する。</p>
	<p>(乙の役割・芦別市、赤平市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、雨竜町)</p> <p>平常時より関係市町と情報交換や事業における連携を進めることにより、災害時や緊急時において、甲からの要請に応じ、迅速かつ的確な対応を行うことができる応援体制の整備を推進する。</p>

重要業績 評価指標 (KPI)	情報交換会議の開催回数 1回(平成29年度) ⇒ 3回(令和4年度)
-----------------------	---------------------------------------

H30年度 の達成状況	<b>3回</b>	○
----------------	-----------	---

I-6-(2) ア 消防相互応援体制の整備

I-6-(1) ア 広域防災体制の連携推進

事業内容		災害時に必要な情報の共有、迅速な対応を図るための応援体制の確立に向けて、平常時より情報交換や事業の連携を進め、広域防災体制の整備と強化を図る。
効果		災害時における迅速かつ細やかな相互応援体制が構築され、住民が安心して生活できる圏域の形成が図られる。
役割分担	滝砂	災害時に情報共有を図ると共に職員派遣や備蓄品・資機材・避難施設の相互利用が可能となる諸準備や共同事業の検討を進め、関係市町と相互応援体制を構築する。
	関係市町	災害時に情報共有を図ると共に職員派遣や備蓄品・資機材・避難施設の相互利用が可能となる諸準備や共同事業の検討を進め、関係市町と相互応援体制を構築する。
補助制度等		地域づくり総合交付金(地域づくり推進事業)に該当(交付率 1/2 以内)

(単位：千円)

事業名	事業主体	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	総事業費
防災備蓄品の購入	芦別市	3,346	3,346	3,346	3,346	3,346	16,730
災害備蓄品の購入	赤平市	2,102	2,102	2,102	2,102	2,102	10,510
災害対策に要する経費(備蓄品購入)	滝川市	925	1,600	1,600	1,600	1,600	7,325
災害対策に要する経費(備蓄品購入費)	砂川市	308	308	308	308	308	1,540
防災用備蓄物品購入	歌志内市	3,399	3,399	3,399	3,399	3,399	16,995
防災に要する経費(備蓄品)	奈井江町	1,055	281	766	768	755	3,625
防災備蓄品購入事業	上砂川町	2,329	1,585	737	815	972	6,438
備蓄品購入費	浦臼町	2,784	2,784	2,784	2,784	2,784	13,920
災害救助物資備蓄事業	新十津川町	542	542	542	542	542	2,710
防災備品関係	雨竜町	1,795	480	480	480	480	3,715
	合計	18,585	16,427	16,064	16,144	16,288	82,811

※各年度別の事業費は令和元年度については予算額、令和2年度以降については現時点で見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

H30 年度の 主な取組実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 滝川地区タイムラインの検討会を 2 回開催し、構成市町はオブザーバーで参加した。</li> <li>・ 専門部会により、7 月 3 日の豪雨以降の気象災害及び 9 月 6 日の北海道胆振東部地震で発生したブラックアウトについて、中空知の各市町における災害対応に関する情報交換等を行った（11 月 20 日）</li> </ul>
R 元年度以降 の取組予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害対応についての情報共有</li> <li>・ 防災備蓄品の最新装備状況の把握・広域避難所などの情報共有</li> </ul>
事業における 課題等	<p>・ 各自治体の防災体制の現場では、近年、日本で次から次へと起こる異常気象や震災などの甚大な被害を教訓に、国や北海道から、法や制度改正、さらには多様なマニュアルがつくられるなど、様々な災害対応の事務に取り組まなければならないという事務量が著しく増える状況にある。</p> <p>特に、気候変動に伴う水害対応は、急務であります、（すべて国等のガイドラインなどで対応できている市町は少ない。）現在、市町の防災体制の実態は、職員数の減少や災害経験の継承が失われるなど、現状の災害対応の能力の維持だけでも厳しい状況の中、新たに行わなければならない災害対応事務に追われている。</p> <p>今後、住民の生命・財産を守るためには、まずは、今の災害大国日本における自治体ごとに従前通りの体制ではなく、新たな災害に対応できるよう防災体制を再構築することがもっとも急がれる課題である。（たとえば、BCP や受援体制など）</p> <p>そのうえで、各自治体における体制づくりの課題を明らかにして、自らできること、できないこと、支援・連携しなければならないことを、北海道を含めたこの圏域での新たな防災連携のあり方について議論する必要がある。</p>

I-6-(2) ア 消防相互応援体制の整備

事業内容		平常時より関係市町と情報交換や事業における連携を進め、また、消防職員及び消防団員の資質向上に努めることにより、災害時や緊急時において、迅速かつ的確な対応を行うことができる応援体制の整備を推進するとともに、消防施設等の整備拡充を進め消防力の強化を図る。
効果		災害時や緊急時における迅速かつ細やかな相互応援体制が整備され、住民が安心して生活できる圏域の形成が図られる。
役割分担	滝 砂	災害時や緊急時において、関係市町と協力し、迅速かつ的確な対応を行うため、平常時より関係市町と情報交換や事業における連携を進め、消防力を強化し、防災力の向上を図る。
	関 係 市 町	災害時や緊急時において、関係市町と協力し、迅速かつ的確な対応を行うため、平常時より関係市町と情報交換や事業における連携を進め、消防力を強化し、防災力の向上を図る。
補助制度等		

(単位:千円)

事業名	事業主体	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	総事業費
消防施設等整備事業	芦別市	27,108	2,180	28,235	28,235	28,235	113,993
消防団員連携交流事業		19	19	19	19	19	95
消防施設等整備事業	赤平市	9,797	9,797	9,797	9,797	9,797	48,985
消防団員連携交流事業		18	18	18	18	18	90
消防施設等整備事業	滝川市	83,300	46,914	15,273	84,950	48,956	279,393
消防団員連携交流事業		18	18	18	18	18	90
消防施設等整備事業	砂川市	16,498	4,480	4,480	4,480	4,480	34,418
消防団員連携交流事業		24	24	24	24	24	120
消防施設等整備事業	歌志内市	2,938	129,089	1,254	0	0	133,281
消防団員連携交流事業		20	20	20	20	20	100
消防施設等整備事業	奈井江町	128,287	128,287	128,287	128,287	128,287	641,435
消防団員連携交流事業		18	18	18	18	18	90
消防施設等整備事業	上砂川町	34,050	0	0	0	0	34,050
消防団員連携交流事業		18	18	18	18	18	90
消防施設等整備事業	浦臼町	26,123	26,123	26,123	26,123	26,123	130,615
消防団員連携交流事業		18	18	18	18	18	90
消防施設等整備事業	新十津川町	5,704	5,704	5,704	5,704	5,704	28,520
消防団員連携交流事業		18	18	18	18	18	90
消防施設等整備事業	雨竜町	18,711	18,711	18,711	18,711	18,711	93,555
消防団員連携交流事業		17	17	17	17	17	85
	合計	352,704	371,473	238,052	306,475	270,481	1,539,185

※各年度別の事業費は令和元年度については予算額、令和2年度以降については現時点で見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

<p>H30 年度の 主な取組実績</p>	<p>中空知救急連絡協議会において、救急外傷研修会、実務担当者打合せ会議、救急症例検討会を開催した。 消防団員連携交流事業として、中空知分会連合消防演習を実施した（6月24日 歌志内市）。</p>
<p>R 元年度以降 の取組予定</p>	<p>消防団員連携交流事業として、中空知分会連合消防演習を実施する（奈井江町）。 （R2：新十津川町、R3：浦臼町、R4：雨竜町） 情報交換事業として、実務者レベルの連絡会議を開催。</p>
<p>事業における 課題等</p>	<p>今後、上記事業を実施する中で、課題を検討する。</p>

## Ⅱ 結びつきやネットワークの強化に係る分野

### 1. 地域公共交通

基本目標	バス運行路線の維持 27 路線（平成 30 年 4 月 1 日時点） ⇒ 27 路線（令和 5 年 3 月 31 日時点）
------	--

H30 年度の達成状況	<b>27 路線</b>	○
-------------	--------------	---

#### （1）多様な公共交通の確保

協定の内容	（取組の内容） 圏域住民の移動手段の確保や利便性の向上を図るため、多様な交通手段の検討と生活交通路線の維持確保と利用促進の取組を進める。	
	（甲の役割・滝川市、砂川市） 関係市町と連携して、バス路線の維持確保と利用促進に取り組む。	
	（乙の役割・芦別市、赤平市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、雨竜町） 関係市町と連携して、バス路線の維持確保と利用促進に取り組む。	

重要業績 評価指標 （KPI）	路線バス利用者数の減少率 2%（平成 25 年度～平成 29 年度の平均） ⇒ 2%以内（令和 4 年度）
-----------------------	--

H30 年度の達成状況	<b>4%</b>	×
-------------	-----------	---

#### Ⅱ-1-(1) ア 多様な生活交通路線の確保

Ⅱ-1-(1) ア 多様な生活交通路線の確保

事業内容		乗り合いバス事業者等への支援を通じ、圏域住民の生活に必要なバス路線の維持確保を図るとともに、多様な交通手段の検討を行う。
効果		関係市町における公共交通の利便性を確保する。
役割分担	滝砂	関係市町及び事業者等と協議しながら、通勤・通学・通院・買い物など、住民の利便性の確保を図るとともに、事業実施にかかる市町負担額をルールに基づき負担する。
	関係市町	関係市町及び事業者等と協議しながら、通勤・通学・通院・買い物など、住民の利便性の確保を図るとともに、事業実施にかかる市町負担額をルールに基づき負担する。
補助制度等		※市町負担額への特別交付税措置（80%）

(単位：千円)

事業名	事業主体	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	総事業費
多様な生活交通路線の確保	芦別市	27,691	27,945	27,945	27,945	27,945	139,471
	赤平市						
多様な生活交通路線の確保	滝川市	8,236	8,236	8,236	8,236	8,236	41,180
多様な生活交通路線の確保	砂川市	12,314	12,314	12,314	12,314	12,314	61,570
多様な生活交通路線の確保	歌志内市	10,783					10,783
多様な生活交通路線の確保	奈井江町	12,095	11,932	11,932	11,932	11,932	59,823
多様な生活交通路線の確保	上砂川町	3,256	3,256	3,256	3,256	3,256	16,280
多様な生活交通路線の確保	浦臼町	15,086	15,086	15,086	15,086	15,086	75,430
多様な生活交通路線の確保	新十津川町	22,079	22,079	22,079	22,079	22,079	110,395
多様な生活交通路線の確保	雨竜町	7,905	7,905	7,905	7,905	7,905	39,525
	合計	119,445	108,753	108,753	108,753	108,753	554,457

※各年度別の事業費は令和元年度については予算額、令和2年度以降については現時点で見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

H30 年度の 主な取組実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空知地域生活交通確保対策協議会及び各分科会等においてバス交通の維持・確保に関する計画の策定や協議を実施した。</li> <li>・ 乗り合いバス事業者等への支援を行い、圏域住民の生活に必要なバス路線の維持確保を図った。</li> </ul>
R 元年度以降 の取組予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空知地域生活交通確保対策協議会及び各分科会等においてバス交通の維持・確保に関する計画の策定や協議を実施する。</li> <li>・ 乗り合いバス事業者等への支援を行い、圏域住民の生活に必要なバス路線の維持確保に取り組む。</li> </ul>
事業における 課題等	特になし

## Ⅱ 結びつきやネットワークの強化に係る分野

### 2. 道路等の交通インフラの整備

基本目標	都市計画道路（市道）の整備率 80.2%（平成29年度） ⇒ 80.7%（令和4年度）
------	--

H30年度 の達成状況	<b>80.2%</b>	△
----------------	--------------	---

#### （1）生活幹線道路の整備

協定の 内容	（取組の内容） 圏域内の主要幹線道路へのアクセス道路及び生活道路の整備や改良を行い、圏域内の道路ネットワークの構築に向けた取組を進める。
	（甲の役割・滝川市、砂川市） 関係市町と連携して、生活幹線道路の整備に関し、圏域内の道路ネットワークの構築に向けた取組を進める。
	（乙の役割・芦別市、赤平市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、雨竜町） 関係市町と連携して、生活幹線道路の整備に関し、圏域内の道路ネットワークの構築に向けた取組を進める。

重要業績 評価指標 （KPI）	市町道路の整備率 65.6%（平成29年度） ⇒ 66.4%（令和4年度）
-----------------------	--

H30年度 の達成状況	<b>65.9%</b>	△
----------------	--------------	---

- Ⅱ-2-(1) ア 地域を結ぶ道路ネットワークの構築及び生活幹線道路の整備  
イ 冬季の安全な道路交通確保事業

Ⅱ-2-(1) ア 地域を結ぶ道路ネットワークの構築及び生活幹線道路の整備

事業内容	日常生活の利便性の向上や地域産業及び地域経済を支える道路ネットワークの構築を図るため、広域的な視点での主要幹線道路へのアクセス道路をはじめとする生活道路の整備充実を図る。また、各種期成会活動を通じ、圏域及び隣接する自治体を結ぶ国道・道道などの幹線道路網等の促進に向けた取り組みを推進する。	
効果	地域内及び地域間を結ぶ道路網の整備によって、通院・通学・買い物など日常生活圏の拡大及び圏域内外の交流促進が図られる。	
役割分担	滝砂	生活幹線道路の整備及び幹線道路網の促進に関し、広域的な視点による道路ネットワークの構築に向けた取り組みを進めるとともに、各自治体が必要な経費を負担する。
	関係市町	生活幹線道路の整備及び幹線道路網の促進に関し、広域的な視点による道路ネットワークの構築に向けた取り組みを進めるとともに、各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等		

(単位：千円)

事業名	事業主体	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	総事業費
道路新設改良事業	芦別市	52,410	73,520	77,680	77,680	77,680	358,970
道路新設改良事業	赤平市	177,200	166,000	116,500	96,000	97,000	652,700
道路新設改良事業費	滝川市	257,610	270,000	270,000	270,000	270,000	1,337,610
道路新設改良事業	砂川市	515,776	515,776	515,776	515,776	515,776	2,578,880
道路新設改良事業	歌志内市	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	15,000
道路新設改良事業	奈井江町	1,100	1,100	48,049	15,331	33,603	99,183
道路維持及び舗装補修	上砂川町	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	150,000
道路新設改良事業	浦臼町	62,710	62,710	62,710	62,710	62,710	313,550
道路整備事業(町道の改良舗装事業)	新十津川町	99,496	99,496	99,496	99,496	99,496	497,480
町道整備事業	雨竜町	61,628	61,628	61,628	61,628	61,628	308,140
	合計	1,260,930	1,283,230	1,284,839	1,231,621	1,250,893	6,311,513

※各年度別の事業費は令和元年度については予算額、令和2年度以降については現時点で見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

H30 年度の 主な取組実績	地域内及び地域間を結ぶ道路網の整備によって、通院・通学・買い物など日常生活圏の拡大及び圏域内外の交流促進を図った。
R 元年度以降 の取組予定	引き続き、地域内及び地域間を結ぶ道路網の整備によって、通院・通学・買い物など日常生活圏の拡大及び圏域内外の交流促進を図る。
事業における 課題等	社会インフラの老朽化に対応するため、国の予算の拡充が求められる。

Ⅱ-2-(1) イ 冬季の安全な道路交通確保事業

事業内容		<p>冬期間の雪による道路交通の障害が、緊急車両の通行の妨げや慢性的な交通渋滞を引き起こし、圏域の大きな課題となることから、地域の実情に応じ、効率的な除排雪を行い、冬季の安全な道路交通を確保する。</p> <p>事例          新十津川町と滝川市の事例：境界での橋梁部分の除雪費按分          街路灯の広域連携経費          砂川市と奈井江町の境界除雪費按分</p>
効果		<p>地域の実情に応じた迅速かつ効率的な除排雪体制が整備されることにより、通勤、通学、産業活動等、市民生活の利便性の向上と冬季の安全対策が図られる。</p>
役割分担	滝砂	各自治体が必要な経費を負担する。
	関係市町	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等		

(単位：千円)

事業名	事業主体	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	総事業費
	芦別市						
	赤平市						
平成橋に係る除雪経費(協定分)	滝川市	410	410	410	410	410	2,050
除排雪に要する経費(奈井江町と連携分)	砂川市	974	974	974	974	974	4,870
	歌志内市						
除排雪に要する経費(砂川市と連携分)	奈井江町	1,182	1,182	1,182	1,182	1,182	5,910
	上砂川町						
	浦臼町						
冬季除雪事業(他市町へ委託分)	新十津川町	900	900	900	900	900	4,500
町道管理負担金	雨竜町	200	200	200	200	200	1,000
	合計	3,666	3,666	3,666	3,666	3,666	18,330

※各年度別の事業費は令和元年度については予算額、令和2年度以降については現時点で見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

H30 年度の 主な取組実績	地域の実情に応じた迅速かつ効率的な除排雪体制を整備し、通勤、通学、産業活動等、市民生活の利便性の向上と冬季の安全対策を図った。
R 元年度以降 の取組予定	引き続き、地域の実情に応じた迅速かつ効率的な除排雪体制を整備し、通勤、通学、産業活動など、市民生活の利便性の向上と登記の安全対策を図る。
事業における 課題等	今後、除雪機械オペレーターの高齢化や人手不足により、除雪技術の継承や事業の存続が危ぶまれ、除雪行政の遂行に多大な影響が懸念される。

## Ⅱ 結びつきやネットワークの強化に係る分野

### 3. 交流・移住促進

基本目標	圏域外からの転入者数 2,671人（平成25年度～平成29年度の平均） ⇒ 2,700人（令和元年度～令和4年度の平均）
------	---

H30年度の達成状況	2,760人	○
------------	--------	---

#### （1）交流・移住促進

協定の内容	（取組の内容） 交流及び移住促進のための施設整備及び維持管理を行うとともに、地域の魅力や移住関連情報を一体的に発信し、交流・移住を促進する。
	（甲の役割・滝川市、砂川市） 圏域の地域資源をはじめとする魅力や交流・移住関連情報を発信する。
	（乙の役割・芦別市、赤平市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、雨竜町） 圏域の地域資源をはじめとする魅力や交流・移住関連情報を発信する。

重要業績評価指標（KPI）	中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援事業」の中空知紹介サイトへのアクセス数 0件（平成31年4月1日） ⇒ 20,160件（令和5年3月末）
---------------	--

H30年度の達成状況	－ 件	※31年度から調査対象
------------	-----	-------------

#### Ⅱ-3-（1） ア 交流推進、移住・定住促進

II-3-(1) ア 交流推進、移住定住促進

事業内容		地域で育まれた生活文化や固有の風土等を知るために、相互交流に取り組む。また、地域における多様な魅力や暮らしや住まいに関する情報（賃貸物件や空き家情報等）やイベント情報などを各市町がそれぞれ情報発信するほか、北海道移住促進協議会、中空知住み替え支援協議会をはじめとする関係団体と連携し、圏域内への移住を促進するために必要な情報の発信を行うなど、交流・定住人口の増加により、地域の活性化を図る。
効果		各施策・事業の取組みによって、交流人口の拡大と圏域内への定住促進が期待される。
役割分担	滝砂	各自治体が必要な経費を負担する。
	関係市町	各自治体が必要な経費を負担する。
補助制度等		

(単位：千円)

事業名	事業主体	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	総事業費
移住・定住促進業務に要する経費	芦別市	19,297	19,297	19,297	19,297	19,297	96,485
中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援」事業		50	50	50	50	50	250
北海道移住促進協議会負担金	赤平市	50	50	50	50	50	250
あんしん住宅助成		14,000	14,000	14,000	14,000	14,000	70,000
中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援」事業		50	50	50	50	50	250
住み替え支援事業補助金	滝川市	10,732	10,732	10,732	10,732	10,732	53,660
新築住宅助成事業補助金		18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	90,000
中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援」事業		50	50	50	50	50	250
移住定住促進に要する経費	砂川市	2,538	2,538	2,538	2,538	2,538	12,690
北海道移住促進協議会負担金		50	50	50	50	50	250
ハートフル住まいる推進事業（取得・改修）		51,000	51,000	51,000	51,000	51,000	255,000
住み替え支援事業補助金		14,000	14,000	14,000	14,000	14,000	70,000
中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援」事業		50	50	50	50	50	250
定住促進事業	歌志内市	6,339	6,339	6,339	6,339	6,339	31,695
中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援」事業		50	50	50	50	50	250
まちづくり定住促進対策事業	奈井江町	38,076	38,076	38,076	38,076	38,076	190,380
中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援」事業		50	50	50	50	50	250
移住定住奨励金	上砂川町	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	27,500
民間賃貸住宅家賃助成事業		240	240	240	240	240	1,200
中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援」事業		50	50	50	50	50	250

定住促進事業（H25～）		13,500	13,500	13,500	13,500	13,500	67,500
中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援」事業	浦臼町	50	50	50	50	50	250
定住促進事業		70,600	70,600	70,600	70,600	70,600	353,000
安心すまいる助成事業（H24～）		25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	125,000
中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援」事業	新十津川町	50	50	50	50	50	250
定住促進事業		23,808	23,808	23,808	23,808	23,808	119,040
中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援」事業	雨竜町	50	50	50	50	50	250
	合計	313,230	313,230	313,230	313,230	313,230	1,566,150

※各年度別の事業費は令和元年度については予算額、令和2年度以降については現時点で見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

H30年度の 主な取組実績	5市5町が連携し、中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援」事業（2年度目）を実施した。
R元年度以降 の取組予定	引き続き、各施策・事業の取組みによって、交流人口及び関係人口の拡大と圏域内への定住促進を図る。
事業における 課題等	特になし

## Ⅱ 結びつきやネットワークの強化に係る分野

### 4. ICTインフラ整備

基本目標	ICTインフラ整備に係る広域的な取組・検討件数 4件（平成29年度） ⇒ 4件（令和元年度～令和4年度までの累積）
------	--

H30年度の達成状況	1件	○
------------	----	---

#### (1) 行政システムのネットワーク

協定の内容	(取組の内容) 電算システムの行政事務を共同処理することにより、行政サービスの向上と事務の効率化を進めるとともに、事務経費の縮減を図る。
	(甲の役割・滝川市、砂川市) 関係市町とともに、広域連携が可能な行政事務の共同化を検討し、その実現を図る。
	(乙の役割・芦別市、赤平市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、雨竜町) 関係市町とともに、広域連携が可能な行政事務の共同化を検討し、その実現を図る。

重要業績 評価指標 (KPI)	住民一人当たりの戸籍証明発行までの待ち時間（電算共同システムの共同運用による住民の戸籍証明発行までの待ち時間の削減） 約2.3分（平成29年度） ⇒ 約2.3分（令和4年度）
-----------------------	--

H30年度の達成状況	2.3分	○
------------	------	---

#### Ⅱ-4-(1) ア 電算システムの共同運用

Ⅱ-4-(1) ア 電算システムの共同運用

事業内容		戸籍電算システムの共同運用により、住民サービスの向上と事務の効率化並びにシステム維持管理経費の軽減を図るとともに、次期更新に向けて準備を進めるほか、さらなる行政事務の電算システムの共同化に向けた検討、情報交換を行う。
効果		戸籍電算システムの導入により、戸籍の作成までの日数や戸籍証明書の発行時間が大幅に短縮されるなど、住民サービスの向上につながるほか、行政事務の共同化を行うことにより、圏域の自治体が個別でシステム導入等する場合に比較して経費削減が図られる。
役割分担	滝砂	電子情報処理組織による戸籍等事務に関する事務を滝川市が受託し、砂川市は関係市町とともに同事務に関する事務を滝川市に委託する。また、引き続き、広域連携が可能な電算システムの共同化に向けての情報交換・調査検討を行う。
	関係市町	電子情報処理組織による戸籍等事務に関する事務を滝川市に委託する。また、引き続き、広域連携が可能な電算システムの共同化に向けての情報交換・調査検討を行う。
補助制度等		普通交付税の単位費用

(単位：千円)

事業名	事業主体	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	総事業費
共同運用	芦別市	3,775	3,775	3,775	3,775	3,775	18,875
共同運用	赤平市	3,504	3,504	3,504	3,504	3,504	17,520
共同運用	滝川市	5,570	5,600	5,600	5,600	5,600	27,970
共同運用	砂川市	3,457	3,457	3,457	3,457	3,457	17,285
共同運用	歌志内市	2,985	2,985	2,985	2,985	2,985	14,925
共同運用	奈井江町	2,450	2,450	2,450	2,450	2,450	12,250
共同運用	上砂川町	2,640	2,640	2,640	2,640	2,640	13,200
共同運用	浦臼町	2,213	2,213	2,213	2,213	2,213	11,065
共同運用	新十津川町	2,771	2,771	2,771	2,771	2,771	13,855
共同運用	雨竜町	2,257	2,257	2,257	2,257	2,257	11,285
	合計	31,622	31,652	31,652	31,652	31,652	158,230

※各年度別の事業費は令和元年度については予算額、令和2年度以降については現時点で見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

H30 年度の 主な取組実績	導入後5年が経過した戸籍電算システム（共同運用）の機器更新を行った。
R 元年度以降 の取組予定	引き続き、戸籍電算システムの共同運用により、住民サービスの向上と事務の効率化及びシステム維持管理経費の軽減を目指し、システムの安定稼働を確保しながら、課題等の把握に努める。
事業における 課題等	令和5年度に予定される次期システム更新に向けて、継続して、情報収集及び情報交換を行う。

### Ⅲ 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

#### 1. 人材育成

基本目標	職員合同研修参加者数 184名（平成29年度） ⇒ 180名（令和4年度）
------	--

H30年度 の達成状況	154名	×
----------------	------	---

#### (1) 職員研修及び大学を活用した人材育成

協定の 内容	（取組の内容） 圏域職員の資質及び政策課題への対応力等を高めるとともに、職員間のネットワークを強化するため、合同研修を実施する。また、大学等の高等教育機関等との協働連携事業を検討し、実施する。
	（甲の役割・滝川市、砂川市） 乙と連携して合同研修を実施する。必要に応じ、研修の講師として外部から専門家の招へいを行う。また、大学等の高等教育機関と関係市町とが協力して、企画立案した連携事業を実施する。
	（乙の役割・芦別市、赤平市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、雨竜町） 職員を合同研修会に参加させるとともに、応分の経費を負担する。また、大学等の高等教育機関と関係市町とが協力して、企画立案した連携事業を実施する。

重要業績 評価指標 （KPI）	國學院大學北海道短期大学部オープンカレッジ参加者数 97人（平成29年度） ⇒ 100人（令和4年度）
-----------------------	--

H30年度 の達成状況	169人	○
----------------	------	---

- Ⅲ-1-(1) ア 職員研修
  - イ 大学を活用した人材育成

Ⅲ-1-(1) ア 職員研修

事業内容		圏域職員の資質および政策課題への対応力等を高めるとともに職員間のネットワークを強化するため、合同研修を実施する。
効果		圏域における合同研修会の開催によって、職員の資質向上と職員間のネットワークが構築される。
役割分担	滝 砂	乙と連携して合同研修を実施する。 必要に応じ、研修の講師として外部から専門家の招へいを行う。
	関係市町	職員を合同研修会に参加させるとともに、応分の経費を負担する。
補助制度等		

(単位：千円)

事業名	事業主体	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	総事業費
職員研修に要する経費	芦別市	2,973	2,973	2,973	2,973	2,973	14,865
職員研修旅費, 講師謝礼	赤平市	838	838	838	838	838	4,190
職員の研修に要する経費	滝川市	2,874	2,874	2,874	2,874	2,874	14,370
職員研修に要する経費	砂川市	2,811	2,811	2,811	2,811	2,811	14,055
職員研修に要する経費	歌志内市	2,155	2,155	2,155	2,155	2,155	10,775
職員の研修に要する経費(旅費)	奈井江町	2,882	2,882	2,882	2,882	2,882	14,410
職員研修に要する経費(講師謝礼)	上砂川町	353	353	353	353	353	1,765
職員研修旅費	浦臼町	1,362	1,362	1,362	1,362	1,362	6,810
職員研修事業	新十津川町	4,170	4,170	4,170	4,170	4,170	20,850
職員研修に要する経費	雨竜町	840	840	840	840	840	4,200
	合計	21,258	21,258	21,258	21,258	21,258	106,290

※各年度別の事業費は令和元年度については予算額、令和2年度以降については現時点で見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

<p>H30 年度の 主な取組実績</p>	<p>5.17 若手仕事心得研修 講師 (株)インソース 松原 恵美子 氏 参加 55 名</p> <p>5.17 接遇研修 (新採用職員) 講師 (株)インソース 松原 恵美子 氏 参加 55 名</p> <p>10.26 OJT 指導者研修 (係長等職員) 講師 (株)インソース 有田恵 氏 参加 23 名</p> <p>接遇研修 (30 歳代中堅職員) 講師 (株)インソース 有田恵 氏 参加 21 名</p>
<p>R 元年度以降 の取組予定</p>	<p>引き続き合同研修会を開催することにより、職員の資質向上と職員間のネットワークの構築を図る。 また、新たな共通課題が発生した場合、構築された職員間のネットワークを活用し課題解決を図る。</p>
<p>事業における 課題等</p>	<p>特になし</p>

Ⅲ-1-(1) イ 大学を活用した人材育成

事業内容		大学等の高等教育機関との各市町もしくは広域圏協働による連携事業を検討し、実施する。
効果		大学等の高等教育機関の知的財産を活用することにより、地域文化、地域福祉、地域産業、生涯学習など様々な分野で地域をけん引する多様な人材の育成が図られる。
役割分担	滝 砂	高等教育機関等と関係市町間（広域圏含む）で連携事業を検討・実施する。
	関 係 市 町	高等教育機関等と関係市町間（広域圏含む）で連携事業を検討・実施する。
補助制度等		

(単位：千円)

事業名	事業主体	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	総事業費
	芦別市						
	赤平市						
國學院大學北海道短期大学部連携事業	滝川市	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	7,500
	砂川市						
	歌志内市						
	奈井江町						
	上砂川町						
	浦臼町						
	新十津川町						
	雨竜町						
	合計	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	7,500

※各年度別の事業費は令和元年度については予算額、令和2年度以降については現時点で見込まれる予定額、若しくは事業内容・規模が前年度と同程度と見込まれる場合には前年同額を記載していますので、今後変更となる可能性があります。

<p>H30 年度の 主な取組実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 國學院大學北海道短期大学部オープンカレッジ講座を実施（14 講座 169 名参加）</li> <li>・ 國學院大學北海道短期大学部による出張講座等の対象を中空知圏域の市町（地域）に拡大</li> <li>・ 社会人入学者奨学制度、長期履修制度（3・4 年コース）の実施</li> </ul>
<p>R 元年度以降 の取組予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 國學院大學北海道短期大学部オープンカレッジ講座を実施（18 講座）</li> <li>・ 國學院大學北海道短期大学部による出前講座（講師派遣）の P R を実施</li> <li>・ 社会人入学者奨学制度、長期履修制度（3・4 年コース）の実施</li> </ul>
<p>事業における 課題等</p>	<p>広域からの参加者の拡大</p>